お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	厳守	被照射面からの距離は30cm以上離す。（火災の原因）
禁止	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）	厳守	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

インバータ器具の取扱い

■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）
■受信電波が弱い場合には、ＡＭおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプを交換・器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

ランプ交換は、適合ランプを確認の上、行ってください。

適合ランプ	CDM-T35W	（口金G12）
（別売）	HCI-T35W	（口金G12）

清掃

○汚れを落とす場合は、やわらかい布にぬるま湯または薄めた中性洗剤をひたしよく絞ってからふきとってください。洗剤が残らないように乾いた布でふきとってください。
○次のものは使用しないでください。
・みがき粉やたわし　・殺虫剤　・熱湯
・シンナーやベンジンなどの揮発性のもの

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
○ランプはソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
○使用済みのランプは不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）
○ソケットの清掃に洗剤を使用しない（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）

⚠警告
器具内部・ランプを水洗いしない（電気部品の浸水で、絶縁不良による感電や器具腐食による落下の原因）

照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、器具内蔵の安定器は３年間です。ランプなどの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社
連絡先 三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

AKARI KOBO　HID器具

E762Z375H50

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

屋外投光器

形名 AKS1005HEH AKS1005WEH
AKS1006HEH AKS1006WEH

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃以上）、粉じん、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	器具を密集して取付けない。（10cm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）
禁止	腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）
禁止	風呂場など湿気の多い場所や水の浸る場所で使わない。（火災・感電の原因）	禁止	調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）
禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）		

お願い

■周囲温度-5～35℃の範囲でご使用ください。
■インバータ器具は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■電源電圧は定格±6%の範囲でご使用ください。
■商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

●製品概要

口出線	600V 2 種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル（2PNCT 0.75mm² 3心）器具外 約1.2m	防水性能	防雨形
		使用温度範囲	－5～35℃
		定格入力電圧	100/200V共用
重量	約2kg	電圧変動範囲	定格値±6％
使用場所	屋外の一般的場所	周波数	50/60Hz共用

ご使用上の注意

●投光器の可動範囲は図1の様になっております。この範囲をご確認の上、投光器の取付を行なってください。その際、構造物とアームとの位置関係に注意して投光器が構造物に触れないようにしてください。火災の原因になることがあります。

●照射物との距離は必ず30cm以上にしてください。火災の原因になることがあります。

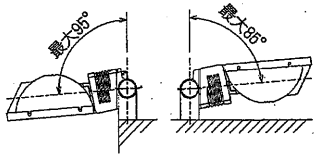
●ランプが不点の場合、約20分間で高圧パルスは自動的に停止します。パルス停止機能が働いた場合は、一旦電源を切ってから再投入しますと再び約20分間の高圧パルスがランプに印加されます。

●投光器の周囲温度が35℃以上の場所で使用した場合、または直射日光の当たる場所でランプを点灯した場合、内蔵温度ヒューズが働き、ランプが消灯する場合がありますが、電子部品の保護機能であり故障ではありませんが、このような環境下では使用しないでください。
温度上昇によりインバータの故障及び火災の原因になることがあります。

●落雷等による瞬時的停電の場合は、パルス停止機能が働いたまま復帰しないことがあります。その場合電源を一旦切ってから再投入してください。

●冠水のおそれのある場所では使用しないでください。漏電、感電、故障の原因になります。

●本投光器は定置形器具です。それ以外の用途でご使用されると、火災・感電・やけど・落下による事故及び投光器破損等の原因になることがあります。



左記以外の本体取付制限はありません。
（エニーポジション構造）

図1

●投光器の取付

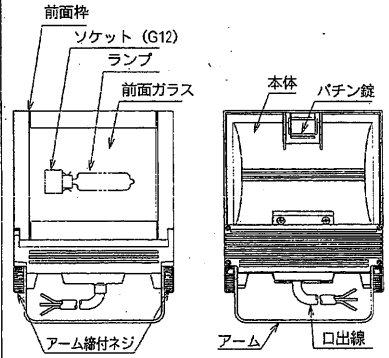


図2

◎投光器は使用制限範囲内での構造物への取り付けを考慮の上設置してください。
◎投光器は人が容易に触れるおそれのない構造物の取り付け面に設置してください。また、人が容易に触れる所で使用する場合は、点灯中高温となるため、柵などを設け保護対策を施してください。

※オプションの取付は別途商品の取扱説明書をご覧ください。

1．投光器のアームには図3のように取付穴（φ12.5）が設けてありますので、適用ボルトM10で緩みのないように（構造物等に直付けの場合はボルト2本で取付てください）確実に締め付けてください。締め付けが不十分な場合ボルトが外れ、投光器の落下の原因になることがあります。

2．専用オプション類には、取付用のボルトもしくはナットが付属されていますが、投光器には付属されていませんので、別途準備してください。

3．投光器の点灯方向により、若干の光色（色温度）のバラツキが見られる場合があります。

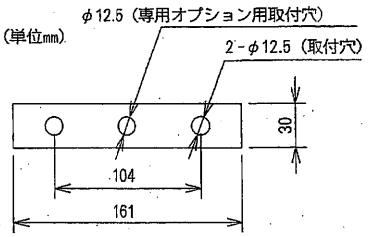
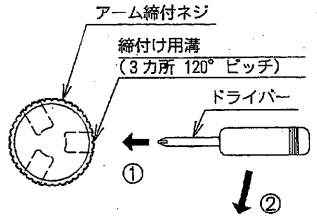


図3



①一般形ドライバー（φ6.5以下）を差し込み
②ドライバーを回転させ強く締め込みます

図4

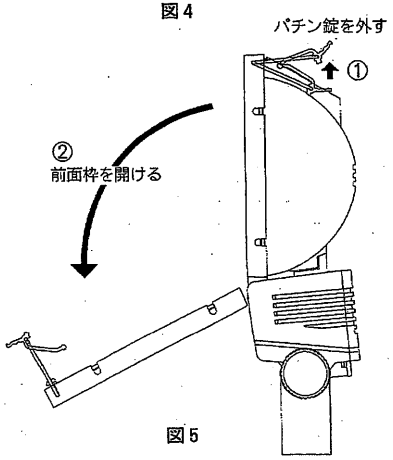
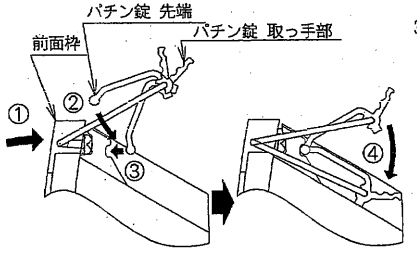


図5



①前面枠を閉じる　④パチン錠 取っ手部を下ろす
②パチン錠を内側へ回転
③パチン錠 先端を溝へ入れる

図6

●照射角度の調整

1．図2のアーム締付ネジを緩めて照射角度に合わせてください。

2．照射角度調整後しっかりと締め付け直してください。
手での締め付けが不十分な場合、図2のアーム締付ネジに締付け用溝がありますので、図4のように一般形のドライバー（先端径φ6.5以下）で締め付けてください。

締め付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因になることがあります。

●ランプの取付

1．投光器上面のパチン錠をはずし、前面枠を開いてください。その際開閉により前面ガラスを構造物にぶつけないように注意してください。ガラスの破損による落下の原因になることがあります。（図5）

2．投光器内のソケットにランプを確実に挿入してください。取り付けが不完全な場合、ランプ不点灯、ランプ落下の原因になることがあります。

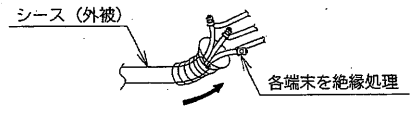
3．前面枠を完全に閉めた後、パチン錠でしっかり確実に締め付けてください。その際前面パッキンが正しい位置にあることを確認後作業を行ってください。浸水による絶縁不良の原因になることがあります。また、前面枠と本体が嵌合してなかったり、前面枠を完全に閉めずに、無理にパチン錠を締め付けるとパチン錠が破損しますので行わないでください。（図6）

●電源線の接続

1．投光器の口出線（3心キャブタイヤケーブル）に接続する配線は、600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用し、投光器からの口出線の黒、白線に電源を結線してください。その際、結線には確実に絶縁処理を施してください。絶縁処理は導体部分のみではなくシース（外被）部も含めて行ってください。不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、ランプ不点の原因になることがあります。（図7）
口出線の接続は電気設備基準の省令第7条、及び同解釈第12条に従ってください。
（具体的な接続方法：内線規程1335-7参照）

2．3心のうち赤い線がアース線となり、D種接地工事を行ってください。

3．この投光器にはインバータが内蔵されていますので適合ランプが限定されます。ランプ設置前に必ず条件を確認の上、設置してください。



自己融着テープ等により各端末を絶縁処理した後にシース（外被）部から絶縁処理を行ってください。

図7